

会員企業 ロゴマークギャラリー

株式会社 ツールオカフジ

シンボルマークや社名の書体(これらを総称してロゴマーク)には、会社のビジョンや経営理念などさまざまな想いが詰まっています。そうした各社各様のロゴマークをご紹介します。



特殊形状スローアウェイトツールの開発・設計から製造まで

スローガン

信頼をカタチに、オリジナリティを追求するエンジニア集団

Q1. 事業内容をご紹介します

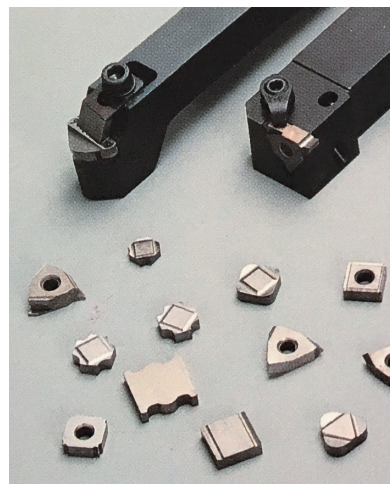
超硬、サーメット、セラミック素材を扱う専門メーカーとして、耐摩耗性に優れた特殊形状切削工具の設計・製造・販売を手掛けています。お客様のニーズに応じた加工技術を進め、幅広い業界へ貢献しております。

Q2. ロゴマークに込めた思いをお聞かせください

ロゴマークは、1977年に社長の友人によってデザインされました。弊社で扱うチップの形状が、空を飛ぶ鳥の姿に見えることから、鳥をモチーフとしたデザインが考案されました。また、「ツール」という音が「鶴」に通じることから、鶴のイメージが加えられました。鶴は昔から縁起が良く、長寿や繁栄の象徴とされており、弊社の成長と発展を願う思いと、力強く飛翔する鳥のように、常に進化し、未来へ羽ばたく企業でありたいという願いが、このマークに込められています。社名の由来は、当時の業界の企業名といえば、事業主名の後ろに「ツール」をつける傾向にありました。それを現社長が、逆にした方が珍しいだろうと「ツール」を前にして社長の苗字を後ろに置き、ツールオカフジと命名しました。

Q3. 貴社の強み、アピールポイントをお聞かせください

特殊形状切削工具の設計・製造・販売を一貫して行い、最適な提案を最高の品質で適正価格にて提供できる点が弊社の強みです。また、大手メーカーにはない、小回りの利く対応が可能であり、短納期での納品にも柔軟に対応いたします。さらに、急な仕様変更や特別なご要望にも迅速に対応できるため、お客様にとって相談しやすい環境が整っています。



スローアウェイトツールは切削工具本体(ホルダー)の先端に装着する刃(チップ)の部分。摩耗や破損したらチップのみを交換する。さまざまな材質、形状のものが開発され、使い分けられている。



自動車部品の高精度加工に用いられる特殊溝形状のチップ。

会社概要

株式会社 ツールオカフジ

本社：大阪府堺市堺区材木町西1丁目5番5号

創業：1977(昭和52)年10月

資本金：8,000万円

従業員数：53名



企業サイトにリンクします

